

# 第 12 回 運営推進会議

通所介護センターうらほろ

# 議 事

- 1 利用者の状況について
- 2 感染対策について
- 3 令和4年度下半期行事報告  
及び事業所研修報告
- 4 令和5年度行事計画
- 5 令和4年度下半期広報誌
- 6 ヒヤリハット・事故報告

# 1 利用者の状況について

令和5年2月現在

月曜日	男性	1人	上浦幌市街
	女性	4人	
火曜日	男性	0人	上浦幌市街 中浦幌
	女性	6人	
水曜日	男性	4人	上浦幌市街 南浦幌
	女性	2人	
木曜日	男性	0人	上浦幌市街 中浦幌
	女性	5人	
金曜日	男性	1人	上浦幌市街
	女性	6人	

## 介 護 度

1	2	3	4	5
2名	11名	5名	2名	0名

# 令和4年度介護度別利用者の状況

令和5年2月現在

月	区分	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	稼働率
4月	実人数	6	3	5	2		16	67%
	延人数	40	27	39	15		121	
5月	実人数	7	4	5	2		18	67%
	延人数	43	26	32	15		116	
6月	実人数	7	5	5	2		19	66%
	延人数	46	33	37	16		132	
7月	実人数	6	4	5	2		17	66%
	延人数	39	28	38	14		119	
8月	実人数	6	5	6	2		19	66%
	延人数	42	22	51	17		132	
9月	実人数	5	6	6	2		19	52%
	延人数	29	26	27	12		94	
10月	実人数	4	8	4	2		18	61%
	延人数	22	41	32	15		110	
11月	実人数	3	9	5	2		19	76%
	延人数	13	54	52	18		137	
12月	実人数	3	9	5	2		19	68%
	延人数	15	42	51	16		124	
1月	実人数	3	9	5	2		19	71%
	延人数	14	47	42	19		122	
2月	実人数	3	9	3	2		17	57%
	延人数	13	46	22	17		98	
計	実人数	53	71	54	22		200	平均
	延人数	316	392	423	174		1305	65%

## 2 感染対策について

### 【マスクの着用について】

令和5年3月13日よりマスクの着用について個人の選択が尊重されるようになりました。

しかし以下の点についてはマスクの着用を推奨されています。

・病院に行くとき ・高齢者施設などに行くとき ・混雑した乗り物の中

その他マスク着用が効果的な方として。

・重症化リスクの高い方が混雑した場所へ行くとき

当デイサービスは高齢者施設であるとともに、重症化リスクの高い方々が利用されるため、利用者様には3月13日以降もデイサービスでのマスク着用をお願いしております。職員に関しましてもマスクの着用や消毒作業等従来通りの感染対策を行ってまいります。

### 【新型コロナウイルス感染症の取り扱いについて】

新型コロナウイルス感染症は、感染症法に基づき現在は※「新型インフルエンザ等感染症（二類相当）」に分類されておりますが、令和5年5月8日より五類感染症に引き下げられます。これによりインフルエンザと同等の取り扱いとなります。

（※発生当初は感染症法上二類感染症と分類されていましたが、無症状の感染者も感染を広げる可能性があることなど新型コロナウイルスの性質がわかってくるにつれ、既存の類型では対応が難しくなってきた為、「新型インフルエンザ等感染症（二類相当）」という分類になりました。）

当デイサービスといたしましては、令和5年5月8日までに対応策を検討してまいりたいと思います。

令和5年3月8日

利用者様・家族様各位

浦幌町社会福祉協議会  
通所介護センターうらほろ  
管理者 横田 道子

TEL 015-576-5566

## 新型コロナウイルス感染症についてご協力依頼

平素より当デイサービスをご利用いただき誠にありがとうございます。また、当デイサービス運営へのご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、この度厚生労働省からマスクの着用について令和5年3月13日から個人の選択が尊重されることとなりましたが、病院に行くとき、高齢者施設に行くとき、混雑した乗り物の中などの場合にはマスクの着用が推奨されております。また、重症化リスクのある方はマスクの着用が効果的であると言われております。

当デイサービスは高齢者施設であると同時に、重症化リスクの高い方々が利用される場所であることを鑑み、今後とも利用者様にはデイサービスでのマスク着用をお願いすることとなりました。利用者様、家族様につきましては大変なご不便とご迷惑をおかけいたしますが、今後ともご協力を宜しくお願い申し上げます。

ご不明な点等ございましたら、ご連絡いただきますよう重ねてお願い申し上げます

以上

### 3 令和4年度下半期行事及び研修報告

10月	6日 19日	お誕生会	10月生まれの方は2名いらっしゃいました。散らし寿司や揚げ出し豆腐をお出しました。記念に誕生日カードをお渡しました。
			
	31日	ハロウィンパーティー	ハロウィンパーティーを行い、おやつにかぼちゃパンケーキをお出しました。
			
11月	17日	お誕生会	11月生まれの方は1名いらっしゃいました。天井や酢の物をお出しました。記念に誕生日カードをお渡しました。
			
12月	22日	冬至	お昼ご飯は宅配弁当の日で、かぼちゃ小豆が入っていました。
			

12月	23日	クリスマス会	<p>から揚げやマカロニサラダ、コーンスープをお出ししました。おやつにはクリスマスケーキをお出ししました。</p> 
	27日 28日	年越しそば	<p>ボランティアの方が手打ちそばを打ってくれました。お蕎麦、天ぷら盛り合わせ、ホウレンソウのお浸しをお出ししました。</p> 
1月	11日 23日	お誕生会	<p>1月生まれの方は2名いらっしゃいました。お赤飯や茶わん蒸し、散らしずし等をお出ししました。記念にお誕生カードをお渡ししました。</p> 
	2月 3日	節分	<p>昼食には海苔巻きをお出しし、午後から豆まきを行いました。</p> 



	15日 21日	お誕生会	2月生まれの方は2名いらっしゃいました。肉豆腐やお赤飯をお出しました。記念にお誕生カードをお渡しました。
			
3月	3日	ひな祭り	ひな祭りを行いました。散らし寿司や菜の花のお浸し、卵豆腐等をお出しました。
			
	3日	お誕生会	3月生まれの方は4名いらっしゃいました。稲荷ずしや天ぷら等をお出しました。記念にお誕生カードをお渡しました。
			

・毎月、利用者の皆様とデイルームの壁に飾る壁画を制作しています。

10月 ハロウィン



11・12月 クリスマス



1月 干支の卯と門松



2月 バレンタインデー



3月 ひな祭り



令和4年11月16日(水) 18:00~

研修名：もし、利用者の記録がなかったらどうなるか、どんな事が起こるだろうか？記録することの重要性を考える

<記録が残されていないということは・・・>

- ・利用者の情報共有ができない
- ・何かあった時にご家族に報告出来ない
- ・事故があった場合の証拠がない
- ・職員間の情報共有が出来ない
- ・利用者へのサービスをどのようにしているか情報開示ができない
- ・ご家族への日々の情報を提供できない
- ・多職種との情報の共有、連携が出来ない
- ・個別ケアの検討する事が出来ない

<記録の重要性とは・・・>

- ・記録を書くと言う事は自分を守る事、利用者を守る事に繋がる→事故や怪我など未然に防ぐ事が出来る
- ・記録とは、日々の出来事を記入するだけではなく、利用者の変化やその事柄に対しての経過観察項目となり、記録をみれば経過がわかるようにしておかなければならない。
- ・記録を書く事に対する責任、(他の人が書いてあるからではダメ。記録に記入されている事は把握しておかなければならない)  
(ご家族から記録の開示を求められれば開示しなければならない書類である)
- ・記録があれば、振り返りが出来る
  
- ・記録がなければ請求できない→チェック項目(何を支援してきたか)経過を共有できない→次に繋げていけない

※今は申し送り書を休んだ時に机に置いてあるかもしれないが、それは記録ではないので、きちんと記録を読んで支援、ディサービスに行く事。又は、支援してきた事をしっかり記録に残す事

日時 令和4年11月24日(木) PM18:00~

研修名:T氏のデイサービスにおける周辺症状の理解とその対応方法について

### ☆認知症ケアの歴史的変化☆

#### 身体介護・問題対処型の時代

↳1960年代から1970年代

介護の基本となる「三大介護」・・・「食事介助」「入浴介助」「排泄介助」

食べる事だけを目的とし、ご飯やおかずを一緒に混ぜた状態で介助

入浴は、男女同時に浴室に列を作った状態で流れ作業のように介助

排泄も、部屋と同じ空間にトイレがあり、オムツ交換する場所も人目のある場所でも構わずに交換していた

徘徊や暴れる等の問題行動がある時には、縛り付ける事や部屋に閉じ込めておく等の今で言う身体拘束

#### アクティビティ中心の時代

↳1980年代から1990年代

バレー、ゲーム、塗り絵等のレクリエーションを中心にしてきた

「その人」を中心にする時代

↳1990年代から現在

"ニューカルチャー"

平成17年介護保険法の改正で「要介護状態となった高齢者などの尊厳保持」が盛り込まれた。

認知症の原因疾患から、

中核症状(認知機能障害)

全般性注意障害、記憶障害、実行機能障害、見当識障害、失認 失行 失語、視空間認知障害

があることから様々な

BPSD(行動・心理症状)

行動障害・・・徘徊、焦燥性興奮、攻撃性、脱抑制、不穏 など

心理症状・・・不安、抑うつ、幻覚・妄想、無気力、不眠 など

がおきます

## 認知症の原因疾患

### 1 神経変性疾患

(1) アルツハイマー型

(2) 非アルツハイマー型

- ①レビー小体型 ②前頭側頭型 ③ピック病
- ④進行性核上性麻痺 ⑤皮質基底核変性症
- ⑥ハンチントン病
- ⑦パーキンソン病による認知症

### 2 脳血管障害

(1) 血管性認知症

- ①脳梗塞 ②脳出血

### 3 その他の原因疾患

(1) 内分泌・代謝性・中毒性

- ①甲状腺機能低下症 ②肝性脳症
- ③ビタミンB12欠乏症 ④アルコール脳症
- ⑤低酸素症 ⑥ミトコンドリア脳筋症
- ⑦透析脳症 ⑧薬物中毒染性疾患

(2) 感染性疾患

- ①クロイツフェルト・ヤコブ病 ②HIV脳症
- ③進行麻痺 ④亜急性硬化性全脳炎

(3) 腫瘍性疾患

- ①原発性脳腫瘍 ②転移性脳腫瘍

(4) 外傷性疾患

- ①慢性硬膜下血腫 ②頭部外傷後遺症

(5) その他

- ①正常圧水頭症 ②多発性硬化症
- ③神経ベーチェット ④サルコイドーシス
- ⑤シュレーグレン症候群

## ニュー カルチャーの源流

### オールド カルチャー

- ・認知症は脳の器質的障害
- ・治療もなく希望もない
- ・ケア 生命維持が目標
- 安全第一の生活管理

### ニュー カルチャー

- ・認知症は病気による知的能力の低下に直面する人々
- ・生きる希望をケアが支える
- ・ケア 内面的理解
- その人らしさを保つ

治らない = 何をやってもムダ…だろうか？

### オールド カルチャー

- ・食事を与える
- ・オムツをとる
- ・入浴させる
- ・安全に管理する

### ニュー カルチャー

- ・原因を考える
- ・共感的に関わる
- ・ともに楽しむ
- ・体調・気分への配慮

認知症の症状は、ケアによって良い状態にもなれば悪い状態にもなりうるものである

## 「認知症介護の理念」とは？

わたしたちは何のためにいるのか？

\*医療で治せないものをわたしたちが軽減させる

病院→患者様 介護→利用者様 になります

例えば、通所で体調変化があった場合に、何度も血圧を測る事は利用者様にはどう感じるのでしょうか？

何度も血圧を測る事によって、利用者様は不安に感じないのであるでしょうか？

治す事はできない、軽減させるとは？？

→経過観察、本人に安心して頂く声掛け、寄り添う事や見守る対応等になってくる

返って、何度も血圧を測る事で利用者を不安にさせてしまう事は良いケアとは言えないでは、私たちの職場は何のために存在しているのだろうか？



\*通所介護センターうらほろの理念を改めて確認する

社会生活の中で認知症を伴う利用者が安心して快適な生活を送れるように、暖かみのある家庭的な雰囲気大切に、また、その方の人間性や生活習慣を生かしながら1日を過ごしてもらおう。

- ◇ 利用者の心地よいケアに努める
- ◇ 個人別に関わる中で発見したことは職員と共有する
- ◇ 言動に関心を持ち、心の声に耳を傾ける
- ◇ 利用者の人間性をまるごと尊重
- ◇ 利用者、家族の意思を基本的に考える

Q. 自分が85歳、認知症になって通所を利用する事になったが、どんな事を介護員からされたら嫌か？

- A.
- ・しつこくされる
  - ・放っておかれる
  - ・自分の理解ができないのに話をすすめられてしまう
  - ・放っておいて欲しい
  - ・嫌な事を押し付けられる
  - ・指示されるのが嫌だ
  - ・調子が悪い時に、何度も血圧を測られるのは嫌だ
  - ・監視するように見ないで

"ニュー カルチャー"や自分達が認知症になって通所を利用し、どんなことを介護員からされたら嫌かを踏まえた上で

T氏の周辺症状の原因を考え、どんな対応をしたら良いのか、検討してみよう！

T氏の周辺症状

・正面玄関まで行く、正面玄関から外に出る。

なぜだろう？（原因を考える）

- ・家に帰りたい ・家族が心配しているから帰りたい ・知らない場所で不安
- ・家族に会いたい ・環境が変わったから知っている所に戻りたい
- ・自分で好きにしたい ・自分はここに来るべきでないと思っている
- ・居心地が悪い ・(昼寝時)みんな寝ている、暗い

どうすればいいだろう？（対応策を考える）

- ・帰りのバスの予約をした事の声かけ ・押し付けにならない様な声掛け
- ・本人の行動を阻止しない ・自分の話をきっかけに会話を持ちかける
- ・店の話をする ・家族の話をする ・自宅から愛用品を持参する
- ・落ち着く状況を作る ・本人の思いを傾聴する ・好きな話をする
- ・常に行動するたびにヘルパーが付くのではなく、見守る
- ・何をしたら良いか家族から聞き取りする（普段している事や使用している物）
- ・帰る時間を伝える ・帰りたい事の共感をする
- ・本人が安心する言葉がけ（例えば、ヘルパーも一緒のバスに乗る為、一緒に待っていきましょう。バスは4時です、今〇時なのでまだ時間があるので一緒に待っていきましょう。等）

まとめ

1. 職員の気持ちを落ち着かせる

→わたしたちの気持ちが相手に伝わっている。ヘルパーが落ち着かない事で、相手も落ち着かなくなり居心地の悪い空間になっている

2. 相手は何をしたいのかを考え、共感した対応をする

→気を紛らわす事や、何かをしてもらうにしても、根本的な解決策ではない。本人にとってはストレスであり、私たちの押し付けになっている

玄関先に出る事や、来客に話しかけても良いと思う

ヘルパーが付き添う事で、外に出てもヘルパーが危険を予測し、状況に応じた対応ができる状態にする。また、来客に話かけても間にヘルパーが入る事で、話を繋げる対応がとれれば問題はない

しかし、その時の本人の状態やヘルパーによって対応しきれない時もある事から、利用者様はもちろん常にヘルパー同士の動きも観る事が大事になってくる。ヘルパー2人で周辺症状のある1人の利用者様に関わるのではなく、ヘルパー1



人が関わり、他のヘルパーは関わっているヘルパーの事も気に向け、玄関から戻って来ない事や、対応に戸惑っている時等に、時間差で対応に加わる様なフォローが必要になってくる。

上記の対応で、明日から行っていく。12/8（木）18:00～対応した結果どのように変化したかを研修する事とする。

※利用者様の基本情報を把握し、疾患から起こる中核症状を考え、それによって起きている周辺症状を見出し、周辺症状の原因を考えた上で利用者様にとってどんな対応が良いのか、対応しただけではなく、対応した時の反応の情報の共有も必要となってくる。ヘルパーみんなが同じ方向性で個々の仕事ではなく、連携した仕事になるように

R4年12月8日 18:00～

研修名：T氏のその他の周辺症状について6名の通所介護員にてグループワークを行う。

お風呂に入りたくない。

なぜ？

- ・自分で入れると思っている。
- ・脱ぎたくないから・私は汚くない。・恥ずかしい

どうする？

- ・何かをする前に声掛けをしてから行う。お願い事があるのと声掛け、表情を観察しながら、声掛けの工夫・先に声掛けするといいい（何かをやる時に～をしますねと声掛けするとすんなりいく。）・お風呂の声掛けは絶対入らない。
- ・上の服を脱ぐと粉が落ちると汚れていると話すと本人納得。声のトーンも重要？

服を脱ぎたくない。

どうする？

- ・声掛けの工夫、決まった声掛けが無い

髪を洗いたくない。

なぜ？

- ・顔に水がかかることが嫌

どうする？

- ・タオルを顔に当てる。上を向いてもらう→それでも拒否されたら（シャンプーを付けてから暴れたら？）後ろの方から流す、すぐ終わると声掛けしながら、感謝しながら流す

上靴を脱ぎたくない。

なぜ？

- ・帰りたいから・他デイでは履いているから・靴を履いているのが当たり前・店では基本靴

靴を脱ぐ習慣がないと思われる

どうする？

- ・靴の裏を消毒して入る。・他利用者には事情を説明・入り口にタオルを置いたが、またいでしまう。声掛けをしてもまたぐ。タオルが汚れていると認識している様子
- ・新聞を丸める以外のアクティビティ～人形効果も薄れている。テープ貼りもできなくなっている。新聞をボールにすることは困難。ボール投げ。風船。

**前回の研修を受けてT氏がどのように変化したか？**

**個人発表**

- ・自分が落ち着いて対応することを前提。入浴に関しては、汚れているから交換させてほしいと声掛けで大丈夫だった。脱衣場まで入るのが大変。正面玄関まで行くことは、店の話や、家族の話をしながら対応した。
- ・本人が落ち着いている場合は、ご家族の話は通じるが、落ち着かない場合は、家族の話をして通じないことがある。落ち着いている時は、話しかけても聞き入れず、スタスタ歩いていってしまう。安心ですねと声掛けすると、本人も同意し、納得してくれた。
- ・研修を受けた時に一番良かったことは、職員がまず落ち着くようにすると、本人の行動も見えるようになり、落ち着いて行動が出来るようになった。
- ・直ぐ行動しないで、少し見守りながら対応することにより、本人も落ち着いていた。事務所の職員にも本人が話しかけていたが、職員が落ち着いていたので良かった。脱衣場まで来るのが大変で毎回同じ職員が連れてきてくれた。そこからは納得してくれて対応出来た。洗髪も拒否なく行っていた。
- ・午前中がくつろいでいる様子、一番で入浴して等本人の生活のリズムが出来てきたのかな？と思う。午後からになると落ち着かなくなるのは変らない。他利用者がトイレに行くときにはついていったりする。正論を言うのではなく、どうですか？と声掛けすると、納得されている。
- ・顔の表情をよく見て対応した方が良い。体調の変化も見てあげたらいいかも。
- ・廊下を歩く時もすぐ声掛けするのではなく、少し様子を見てから声掛け、廊下の出入りが多いと落ち着かない。
- ・火曜日に自宅内でいつも持っている靴が見当たらず持参がなかった。その日1日靴を気にすることがなかった。木曜日には自宅に靴はあったが、火曜日に気にしなかった為、持ってこなくて大丈夫と家族に伝えたが、午前中から靴を気にすることがあり探すことがあった、ただその時は他者がトイレに行くために廊下に出たことが気になり、靴の事は忘れていた。午後から事務所カウンターにある郵便物バック（黒色）が気になり、持って行ってしまう。おやつ時に同じ黒色の靴（現在使用していない）があり、ヘルパーが間違えてしまったと本人に声掛けし、取り替えてもらう。夕方のトイレに行く際に、トイレ前の椅子に靴を置いた後は靴を気にすることはなく、そのまま回収する。→1日だけの観察では



不十分だった。観察期間はもう少しあったほうが良かった。家族に次回からまた鞆の持参をお願いした。

- 入浴時脱衣場に誘うときのコツは、「お願いしたいことがあります」と声掛けする。
- 家族からは夜間は良く寝ている。趣味等は無い。何にもしていない。他利用者積極的に話ししてくれており、本人も楽しそう。
- 職員全体が落ち着いて行動できていた。職員がデイルームに戻らなきゃいけない気持ちが先走っていたが、現在はそのようなことは少なくなった。認知症からくる症状の原因を考えた上で対応策を考えていかなくてはいけない。ケアによっていい状態になる時も、悪い状態になる時もあるという事を理解していかなければならない。
- 情報の共有は重要、記録を書いていく、悪いことに目を向けるのではなく、良いことに目を向ける。

# 研修報告書

所属	通所介護
日時	令和4年11月25日(金)11:00~11:30
研修名	避難訓練
目的	保健福祉センターの避難訓練に参加し、より実践的な訓練を行うことで、災害時に落ち着いて利用者を避難誘導出来るよう動きを確認する。
場所	保健福祉センター
内容	参加者
	・全体の把握、指示出し(管理者=以降(管))・デイルーム利用者を非常口まで声掛け、誘導(Y)(K)
	・入浴介助中(T)・利用者と共に廊下トイレから避難(N)・初期消火後利用者と共に避難(U)
	・デイルーム内利用者へ声掛け(O) 動画撮影(M)
	デイルーム組
	11:00~サイレンと共に避難訓練開始
	(管)全員に避難指示→(Y)排煙窓を開け、歩行できる利用者に「落ち着いて行動しましょう」と声掛けし、歩行出来る利用者を非常口まで誘導する。K・A氏とY氏が先に立ち上がる。後ろの席からK・A氏が歩いて非常口まで来られるが、非常口ではなく、デイルーム入口に少し向かおうとしていた、(Y)とちょうど利用者の上靴を取りにいていた(K)が口頭で制止し、非常口まで口頭で誘導する。S氏とT・C氏は(O)に声掛けされ、立ち上がり非常口まで来られようとした。
	サイレンから35秒Y氏の歩行器を(管)が廊下から持参しセット。47秒館内放送が流れ、職員の指示に従い避難との指示あり。非常口前には、①K・A氏②Y氏が並んでいる。K・A氏は自分の靴を履こうとしている。
	T・C氏につられS氏もデイルーム入口まで行こうとしていた、(Y)が声掛けするも2人共止まらず行こうとしていた。
	初期消火後の(U)がT・C氏の目の前にいた為制止、その間に(Y)がT・C氏の手をとり非常口まで誘導する。それにつられS氏も非常口まで行く。1分11秒(管)が非常口を開錠、避難を開始する。
	Y氏、S氏、K・A氏が避難。1分30秒その後ろにトイレにいた(N)とT・S氏が廊下側非常口から避難した。
	(K)も避難誘導しようとするも、職員の上靴が無い。Y氏、S氏、K・A氏は、避難経路途中で待っており、途中まで(K)が靴を履かずに誘導。(Y)が(K)に対し、T・C氏の避難誘導を指示、代わりに(U)が3名の避難誘導を行う。
	(K)がT・C氏の誘導をする。2分20秒T・C氏まで避難。(O)が手引きでK・N氏を非常口まで誘導、(O)(Y)2人がかりでK・N氏に靴を履いてもらう。3分30秒K・N氏(Y)(管)全員避難開始する。
	(管)がK・N氏を手引きで誘導し、(Y)がタオルケット2枚を持ち、浴室へ行き窓を叩き火災を知らせ、(T)にタオルケット2枚を渡し、浴室内に待機するよう指示を出す。
	4分40秒K・N氏が歩行困難な状態の為、(管)(Y)2人介助にて駐車場へ避難。途中で(M)が車椅子を持参する。

トイレ待機組

11:00のサイレンが鳴り、トイレでは聞こえていたため、廊下から顔を出す。その際(管)が廊下非常口を開錠した為、(N)がT・S氏と共に、廊下非常口から避難開始。

入浴介助組

11:00のサイレンの音は聞こえず。3分50秒(Y)が窓を叩き、タオルケット2枚を受け取る。

感想

利用者に対し落ち着いて行動しましょうと声掛けしたところが良かった。利用者が非常口ではないところへ行こうとした際も、落ち着いて声掛けし、手を引く等の介助が行えていたと思われる。そのおかげか、利用者は落ち着かれて行動できていたと思われる。

職員の行動に関しては、まずどこで火災が起こっているのか(今回はデイルーム台所)を理解して行動していなかったと思われる。

的確な指示出しを行うことが出来ずウロウロする職員もあり、今後対応策の検討が必要と思われる。

事務所職員が応援に駆け付ける予定だったが、連携がうまくいかず1名しか来なかった。今後は事務所職員とも連携を図り、社協全体で訓練を行う必要があると考えられる。

## 職員研修

日時	R 5 年 1 月 2 6 日 18:00～
場所	ふれあいルーム
研修名	ふれあいルームで火災が起きた場合の避難について
目的	実際に利用者を含めた避難訓練を行い、改善点や振り返る事で、実際に避難する事になった時の迅速な避難と職員間の連携を図る

### <研修内容>

#### ①11月25日 保健福祉課主催による避難訓練を動画で振り返る

- ・無駄な動きが多く、行わなければならない事（入口を閉鎖）をせず、してはならない事（デイサービスキッチンからの出火が想定された避難訓練にも関わらず、何度も火の元そばを通り過ぎる、廊下へ出たにも関わらずデイルームの出入り口から入っている）をしてしまった
- ・事務局と打ち合わせていた話と違う為パニックになってしまった  
（事務局は火災発生時、正面玄関から外を回り、デイサービス利用者の避難誘導を行う予定であったが、連携がうまくいっておらず、職員が1名しか来なかった）
- ・スリッパ1つにしても、何度も取りに行くことや、スタッフが各々でスリッパを取りに行っていた
- ・手持ち無沙汰スタッフもいる
- ・指示係の指示も少なければ、スタッフ同士の声掛けが不足している
- ・状況の理解ができない利用者への対応不足が感じられた
- ・事務局が助けに来ると言う考えがあり、来ない場合の想定も必要と感じられた

#### ②改善点を考える

- ・何度も靴を運ぶ事や各々でスリッパを取りに行く事は、火元に近づく上に時間のロスになる
  - 靴の置き場所、靴が全部入るぐらいの大きさの鞆を用意して置く等を要検討とする
- ・非常口とわかるような案内表示があっても良いのでは
  - 字が読め、理解ができる方には認識してもらえらるため実行予定
- ・無駄な動きが無く避難させるには
  - 指示役は、全体を周知した上で状況に合わせた指示を行い、スタッフはお互いに声を掛け合う
- ・事務局との連携がうまく行えていない
  - 再度、避難する際の社協全体として細かい部分のお願いをしていく

#### ③まとめ

迅速に落ち着いて避難させるには、動ける利用者を先に避難させる。先に避難する利用

者は動ける事から、避難誘導者1名につき利用者1名ではなく、できるだけ多くの利用者の人数を対応していき、事務局が応援に来た際には、対応が可能な利用者を事務局に引き渡し、対応の難しい利用者の対応の応援に向かう。介護員全員がそれぞれの役割を理解し、どの役割にも応じられる様にしていくと共に、日頃から職員同士の声掛けを意識しながら業務に携わる事でうまく連携が図れるようにしていく。

## 4 令和5年度行事計画

4月	お花見ドライブ	近くにある、桜のきれいな場所をドライブしながら、鑑賞します。
5月	野菜植え	野菜や花の苗を畑やプランターに植えます。
6月	避難訓練	社会福祉協議会の避難訓練を行います。
	買い物レク	道の駅等へ買い物に行きます。
8月	バーベキュー	デイサービス前のベランダで、炭をおこし、焼肉をします。
9月	敬老会	敬老にちなんだプレゼントをお渡しします。
	紅葉ドライブ	紅葉のきれいな場所をドライブします。
10月	避難訓練	保健福祉課の避難訓練に参加し、非常ベルとともに、非常口から避難します。その後は、消火器の使い方等のお話を聞きます。
	ハロウィン	ハロウィンにちなんだ、ご馳走をお出します。
12月	クリスマス会	クリスマスにちなんだ、ご馳走をお出します。
	忘年会	おそばを食べて、年末の挨拶をします。
1月	新年会	おせち料理を頂きながら、新年のお祝いをします。
2月	節分	皆様と一緒に豆まきを行います。昼食は恵方巻きをお出します。
3月	ひなまつり	雛人形をかざり、昼食にご馳走をお出します。
随時	お誕生会	お誕生日の方の好きなメニューでお祝いし、バースデーカードを贈りたいと思います。
毎月	事業所研修	勉強会を開催、職員同士で情報を共有していきたいと思います。

## 5 令和4年度下半期広報誌

- 令和4年10月1日発行
- 令和4年12月1日発行
- 令和5年 2月1日発行



# ふれあい通信

9号

令和4年10月1日発行  
浦幌町社会福祉協議会  
通所介護センターうらほろ  
浦幌町字北町8番地1  
☎015-576-5566

## 8月の出来事



ちなみに……。皆様は子供のころ「ローソクもらい」という風習を行いましたか？提灯を持ち「ローソク出せ、出せよ、出さないとかっやくぞ」と歌いながら、近隣の家に行き、ローソクや、お菓子をもらうというものです。今で言うハロウィンのようなものですね！

近年では防犯上の理由から行っていないところが多いそうです。

私も小さい頃、夏休みになると祖父母の家に泊まりに行き、「ローソクもらい」を行っていました。ホントはお菓子がいいのに、ローソクをもらいがあったりした記憶があります……。by生活相談員



**8月の壁画は七夕です！利用者様の願い事を短冊に  
込めました！**



**プランターで育てた  
小松菜を収穫しました！  
昼食時に味噌汁の具として  
頂きました！**



## 8月お誕生日の方



**おめでとうございます！**



# 9月の出来事

9月12日～15日に敬老会を行いました！  
記念にご本人の写真入り手作り写真立てをお贈りいたしました。

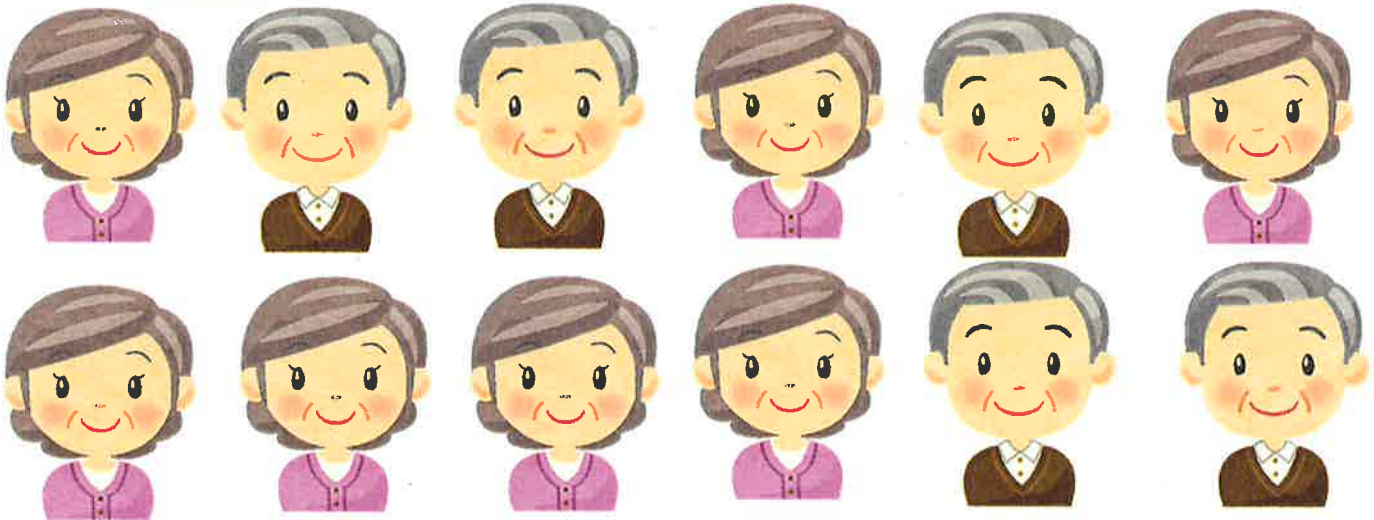


～写真立て制作～

利用者様各々違うデザインの写真立てを作りました！



## 敬老会



祝米寿  
おめでとうございます



# ふれあい通信

10号

令和4年12月1日発行  
浦幌町社会福祉協議会  
通所介護センターうらほろ  
浦幌町字北町8番地1  
☎015-576-5566

## 10月の出来事



10月の壁画は  
Halloween!  
お花紙で  
「ジャック・オ・ランタン、  
コウモリ、月、お城」  
を作りました♡



### ハロウィンの起源

ハロウィンの起源は、古代ケルト人の秋の収穫感謝祭。また、亡くなった霊が親族を訪ねてくる日ともいわれ、日本でいう「お盆」にも似ています。ただ、この日は亡くなった霊と一緒に悪い霊もやってきて作物を荒らすともいわれています。仮装をするのは、悪い霊と同じ格好をして、仲間ですよ、とアピールして難を逃れる為に行ったのが始まりと言われてい



### かぼちゃ入り パンケーキ☆



### 10月お誕生日の方



おめでとうございます!



# 11月の出来事



## 機能訓練の様子

各利用者様の身体状況等を考慮しながら、運動する機会を設けています。



センター内の廊下を歩いています！



## 避難訓練

令和4年11月25日金曜日に避難訓練がありました。今回の避難訓練は、デイサービスが出火元と想定されました。職員の誘導に、皆様落ち着いて駐車場まで避難されておりました。

毎年、年に2回行われている避難訓練ですが、地震等を想定した訓練も行っています。



昔、小学校などでの避難訓練時の合言葉は「おかし」や「おはし」だけだったような気がします。

現在では「おかしもち」なんだそうです。

お～押さない（前の人を押さない）

か～駈け出さない（駈け出さない）

し～しゃべらない（避難指示が聞けなくなる為喋らない）

も～戻らない（どんな忘れ物があっても戻らない）

ち～近寄らない（どんな事情があっても近寄らない）

## 11月お誕生日の方



おめでとう  
ございます！





# ふれあい通信

11号

令和4年2月1日発行  
浦幌町社会福祉協議会  
通所介護センターうらほろ  
浦幌町字北町8番地1  
☎015-576-5566

## 12月の出来事



12月の壁画はクリスマスツリーです！周りにサンタやトナカイ、雪だるま等を飾りました。

### 日本でのクリスマスツリーの始まり

日本で最初にクリスマスツリーが飾られたのは1860年プロセイン王国公館です。

その後、横浜のスーパー「明治屋」が1886年12月7日横浜に日本初のツリーを飾りました。現在では、毎年12月7日は「クリスマスツリーの日」に制定されているそうです。その後「明治屋」は横浜から東京銀座に店舗を移設し、毎年クリスマスの飾り行けを行いました。「明治屋」の飾りをきっかけにクリスマスの認知度は高まり、徐々に民間にも浸透していったそうです。



## クリスマス会



## 12月お誕生日の方



おめでとーございます



## 年越しそば



今年1年ありがとう  
ございました！  
来年も宜しくお願い  
いたします！





# 1月の出来事

1月の壁画は干支の卯です  
折り紙で貼絵を行いました。  
門松はお花紙で作成しました。



明けましておめでとう  
ございます！  
今年も宜しくお願い  
いたします！



## 門松の由来

門松とはお正月にその年の福や徳をつかさどる歳徳神や穀物の神、先祖の霊などが家へ訪ねてくるための目印だそうです。

**松**～一年中緑の葉をつけることから**永遠の命の象徴**であり、樹齢が長いことから不老長寿と結び付けられています。

**竹**～竹は生長が早く、**生命力や繁栄の象徴**とされています。また真っ直ぐ曲がらずに生長することから、誠実な心や強い志の象徴としても用いられています。

**梅**～梅は他の花に先駆けて早春に咲くことから**出世や開運の象徴**としての意味合いがあります。また、厳しい寒さの中でも花を咲かせ、芳しい匂いを漂わせるため、縁起の良い花として飾りに用いられます。

## 1月お誕生日の方



おめでと  
うござ  
います



## 1月31日(火)吉野にフクロウを見に行きました！

親フクロウがいなく子フクロウがお留守番をしていました。

親子フクロウが見れなくて少し残念でした。



# 6 令和4年度ヒヤリハット・事故報告

## 【ヒヤリハット】

### 令和4年4月28日(木)

帰宅時利用者を自宅まで送り届けた後、同乗利用者を送迎中に事務所より連絡が入る、下駄箱に外靴がある為上靴のまま帰宅したのではとの事。家族へ連絡を取り、外靴を持参のうえ謝罪する。

#### 【原因と問題点】

- ・乗車時、職員1人で利用者2人を介助した為、上靴を外靴に取り替えることを忘れてしまった。
- ・本来では利用者1人に対し職員が1人つくはずが、この日職員の不足によりデイルームを見守る職員がいなくなることから利用者2人を職員1人で対応した。

#### 【今後の対応策】

- ・職員が不足している場合、1人はデイルームで待機してもらい、1人の乗車を確認した後、（乗車後の見守りは運転手をお願いする）デイルームへ戻り、もう1人を車へ誘導する。

### 令和4年6月15日(水)

お迎え時、住宅の外階段を本人とゆっくり下りていたが、本人が最後の1段を段飛ばしするように下りようとした。本人に声をかけた為、本人は足を戻そうとしたが、どうしたらいいのか迷ってしまったようで、ゆっくりと座るように腰が引けてしまった。職員が両脇を抱えながら支えていた為、階段に座ることはなかった。

#### 【原因と問題点】

- ・本人は視力が良くない為、段差がきちんと認識できていなかった。
- ・職員が先に最後の1段に足を置いていた為、その足が目印になっていた。

#### 【今後の対応策】

- ・本人と歩幅を合わせる。
- ・必ず2人介助を行う。1人は前に回り、足がきちんと段差につくように介助する。
- ・階段を使用せず、住宅の反対側から出る。→6月17日迎え時反対側を確認したが、段差あり不便な為、通常通り階段を使用することとなる。

### 令和4年6月30日(木)

迎え時、右麻痺の利用者がいつも通り玄関から後ろ向きで階段を下りようとしたところ、玄関左隅にいた死んだ蜘蛛を左足で蹴りだそうとした為、左側にバランスを崩しふらついた。本人の後ろにいた運転手と本人の右側に職員がおり、同時に支えた為転倒には至らず。

#### 【原因と問題点】

- ・右足痛があり、歩行する機会が少なくなっていた為、体力や筋力の低下。
- ・補装具が新しくなったばかりでまだ歩行に慣れていなかった。

### 令和4年11月10日(木)

利用者の昼食後薬が入っているBOXにT氏が内服している漢方薬とその隣にO氏が内服している漢方薬が入っている。内容物は全く違うが、見た目が同じだった為一瞬見ただけでは区別がつかない。(漢方薬の番号は全く違う)

#### 【原因と問題点】

- ・番号は違うが、見た目が一瞬見ただけでは判断しにくい。
- ・名札の位置が隣同士にあった。

#### 【今後の対応策】

- ・同日利用の場合は名札の位置を離す。
- ・曜日ごとに名札を入れ替える。
- ・内服薬を預かった際や服用してもらう際、名前や漢方薬名を必ず確認する。

### 令和5年1月25日(木)

ケアマネが本人宅を訪問した際に、家族より昨年の12月中旬の朝8時頃本人が出かけようとしたところを発見したと報告を受ける。その際家族が本人に事情を聞いたところ、デイサービスにて渡していた年末年始利用のカレンダーを家族に見せ、町立診療所へ検査結果を聞きに行くと話されたとの事。

#### 【原因と問題点】

- ・年末年始のカレンダーを見て本人が勘違いをし、町立診療所へ行こうとした。
- ・請求書は家族宅ポストへ投函していたが、年末年始のカレンダーは連絡帳へ挟んである事を記入しただけだった。
- ・去年の6月から利用を開始されている為、年末年始のカレンダーがある事を事前に家族へ知らせていなかった。

#### 【今後の対応策】

- ・書類関係は事前にご家族へ連絡をし、ご家族宅ポストへ投函するようにする。

## 【事故報告】

### 令和4年6月17日(金)

帰宅時K氏とT氏を一緒の車両にて送迎していた。先にK氏を自宅まで送り、T氏には車内で待ってもらおうよう声掛けした。K氏が自宅玄関の鍵を開け、いつもの場所へ鍵を置いたことを確認し、職員が車へ戻ろうとしたところT氏が車から降りており、根のついた花を4~5本持っている。K氏の庭から抜いた花だと思われた。T氏がK氏に対し、もらってもいいか聞き、K氏も了承した。抜いてしまったものを戻すことは出来ず、K氏も持って行っていいと言っていたため、T氏は返すことなく車へ乗り込んでしまう。T氏に対し、デイサービスでの物のやり取りは遠慮していただいていることを話した。

#### 【原因】

・車中では「花」に関する会話はしておらず、デイサービス利用中に話をしていた可能性はあったが不明。

・元々、昔から近所付き合いをしている方々の為、その延長上でのやりとりをした可能性もある。

#### 【今後の対応策】

・送迎の組み合わせを変える

・職員が2人で対応する(運転手と介助員)

・T氏を先に送る等その時のシフト状況をみながら対応する。

#### 令和5年3月1日(水)

利用者の入浴後、髪を乾かしていた別職員が、本人に声掛けしたところ入浴前より耳の聞こえが悪くなっていることに気づく。入浴後だった為、外した補聴器をまだ付けていないと思い確認すると補聴器はついている、入浴介助をした職員に確認したところ補聴器をしていたことに気づかず入浴介助をしてしまったとの事。すぐに補聴器を確認、右側の補聴器に問題はなかったが、左側の補聴器の音量が小さい。電池を外し乾燥させると、当初より音量は上がっているが左右差はまだあった。本人に補聴器を付けてもらったところ、聞こえていると話された。帰宅時ご家族へ事情を説明し、謝罪。ご家族より以前から左側は調子が悪く、補聴器店へ見せに行く予定だったとの事。

1週間後、ご家族へ補聴器の調子を伺うと、補聴器店で見てもらったところ、ゴミが詰まっていた為、音量が小さかったとの事で、中の掃除をしてもらった為故障はしていないと話された。

#### 【原因】

・入浴介助をした職員は初めてその利用者の対応をした為、装備品の把握が出来ていなかった。

・職員間での声掛け、引継ぎがうまく出来ていなかった。

#### 【今後の対応策】

・職員間での声掛け、引継ぎの徹底。

・介助者は、利用者の情報の確認を徹底。

・10:00 前と 14:00 に職員間でミーティングをし、利用者の情報を共有。

#### 令和5年3月8日(水)

連絡手帳に請求書と新型コロナウイルス感染症についてのご協力依頼文書を挟み、利用者の鞆へ入れたが、ご自宅に送迎後、利用者のご家族より他利用者の請求書が入っていると連絡を頂く。請求書を挟み間違いをしてしまった。双方のご家族へ謝罪をし、請求書を再度お渡りする。

#### 【原因】

連絡手帳に請求書などを挟み、鞆へ入れるまでを1人で行ってしまった。

#### 【今後の対応策】

・1人で行わず、周囲の職員にも間違いがないか確認してもらおう。

・送迎職員は、送迎時再度鞆内を確認し、連絡手帳や、請求書に間違いがないか確認する。